

# 下肢閉塞性動脈硬化症

歩くと足が痛い  
それは、足の血流が悪いサインかも？！

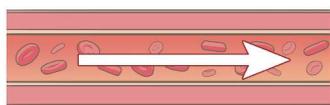


## こんな症状はありませんか？

- 片足が痺れたり、足の先が冷えたりする
- 長く歩くと片足が痛くなる
- 休むと足の痛みがなくなり、歩けるようになる
- 片足の皮膚が青白くなったり、紫色になったりする
- じっとしていても足が痛い

上記のような症状がありましたら、かしへいそくせいどうみやくこうかしょう下肢閉塞性動脈硬化症（LEAD）かもしれません。

## 下肢閉塞性動脈硬化症とはどんな病気？



正常



血管が詰まっている

足の血管の動脈硬化により、血管が狭くなったり、詰まったりする病気です。（左図）悪玉コレステロールなどの成分が血管内に沈着したり、糖尿病や高血圧、喫煙などにより血管が傷つけられたりすることで進行が早まります。

足への血流が悪くなると、筋肉や組織に十分な栄養や酸素を送れなくなり、さまざまな障害が現れます。下記のように、症状によって重症度が示されます。

## どんな症状がありますか

初期 冷感・しびれ感	手足の先が冷たくしびれたり、指が青白くなったりする
第2期 <small>かんけつせいはこう</small> 間歇性跛行	短距離の歩行で足の痛みやしびれが出現し、休むと症状が軽減する 腰の背骨の異常でも同じような症状がでますが、違いがあります。 ※血管の異常（血管性間歇性跛行）：姿勢に関係なく立ち止まるだけで足の痛みが軽減する。 ※骨の異常（神経性間歇性跛行）：前かがみになると軽減する。自転車にのることはできる。
重症下肢虚血 第3期 安静時疼痛	じっとしていても痛みを感じ、夜も眠れず、痛みが持続する
第4期 <small>かいよう えそ</small> 潰瘍・壊疽	血行不良から治りにくい潰瘍ができたり、黒く壊死することがある

また、下肢閉塞性動脈硬化症は足の血管に限る病気ではなく、脳や心臓の血管にも関連する全身病とされています。特に症状が重篤な重症下肢虚血の場合、5年後には60%の人が命を落とすと言われ、予後は極めて不良で、進行悪性腫瘍の予後と似ているとも言われています。特に、糖尿病のある方は感覚が鈍く、傷ややけどなどに気付くのが遅れてしまい、症状が重篤化する場合があるため注意が必要です。

生命予後（長生きできるかどうか）の観点から、早期に発見し、治療を開始することが重要です。気になる症状がありましたら、循環器内科までお問い合わせください。

検査方法・治療法は裏へ続く

## 検査方法

### ABI 検査（上腕・足関節血圧比）

両腕、両足の血圧を同時に測定し、簡便にできる検査です。

### 下肢血管エコー

体表面から超音波を用いて血管の状態を観察します。

### 造影 CT

血管内に造影剤を注入し、放射線を用いて画像を構築します。

### 下肢 MRA

造影剤や放射線を用いずに検査をすることが可能です。



ABI 検査（上腕・足関節血圧比）

## 治療方法

### 禁煙

たばこに含まれるニコチンは血管を収縮させる作用があり、症状を悪化させます。禁煙が必須の治療です。

### 運動療法

歩くことは最も安全性に優れる治療で、歩行時の痛みには有効です。血流を改善させ歩行距離を延長することができます。

### 薬物療法

血液をサラサラにする抗血小板薬や血管拡張薬を内服することで症状の改善を期待できます。

### 血管内治療（経皮的血管形成術）

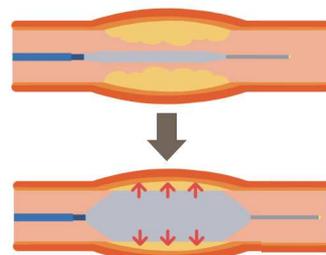
血管内にカテーテルを挿入し、細くなっている部分をステントなどで拡張させ血流の改善をはかります。

### バイパス手術

血管が細くなっているところの先に、血管をつなぎ合わせる手術です。



運動療法（ウォーキング）



経皮的血管形成術

治療は症状の程度によって異なります。

症状が軽度の間歇性跛行である場合は経過が比較的良好なこともあり、生活習慣病の改善や薬物療法・運動療法が主体となります。



β

足の冷えは血流の流れをさらに悪くします。靴下や電気毛布を使って、保温に努めてください。その際、低温やけどに注意が必要です。靴はゆとりのあるものを選びましょう。足はいつも清潔に保ちましょう。

### お問い合わせ先

048-665-6111（病院代表）

月～金 9:00～17:00、土 9:00～12:00

※午前中は大変混み合っており、平日午後の時間帯が比較的に繋がりやすくなっております。

気になる症状がありましたら  
循環器内科のスタッフまで